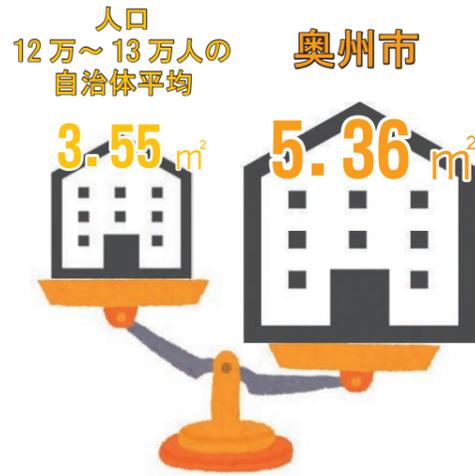


「人口1人当たりの延床面積」全国との比較



※「東洋大学PPP研究センター紀要」より

全国的な調査によると、公共施設の人口1人当たりの延床面積は、全国平均3.42 m<sup>2</sup>という結果が出ています。また、人口規模12万～13万人の自治体における人口1人当たりの延床面積は、平均3.55 m<sup>2</sup>となっています。このことから、本市の5.36 m<sup>2</sup>という数値は、公共施設を過剰に持ち過ぎているとの見方ができます。

—40年間の公共施設の姿を描く—

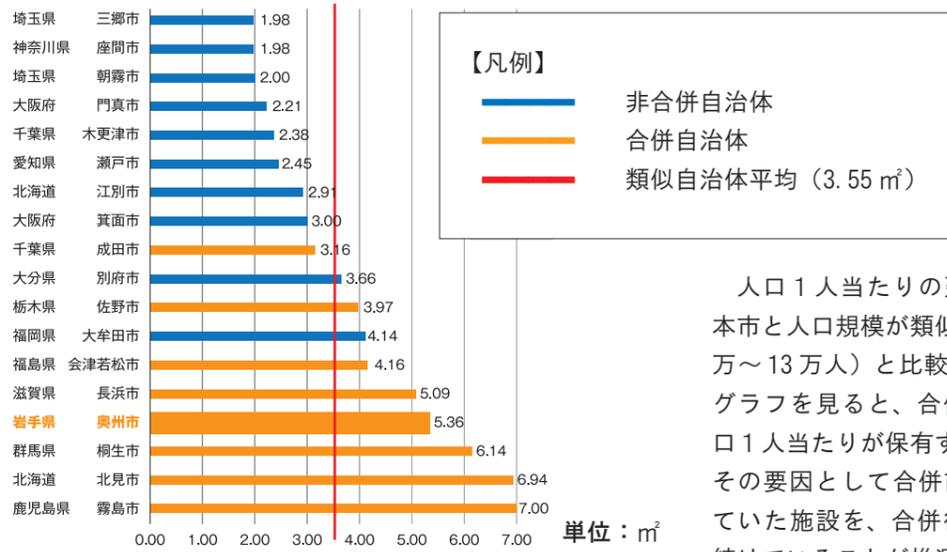
# 人口減少時代の公共施設とは



市内にある公共施設の多くは、「人口減少」が社会問題として取り上げられる以前に建てられたものです。全国的に人口減少が進む中、多くの自治体にとって公共施設の維持が大きな課題となっています。ここでは、今後40年間を見据えた公共施設の在り方や必要量について取り上げます。市民全員でこの課題について考えてみましょう。

■問い合わせ＝本庁行政経営室（☎ 34-2225）

「人口1人当たりの延床面積」人口規模類似自治体との比較



人口1人当たりの延床面積について、本市と人口規模が類似する自治体(人口12万～13万人)と比較してみました。このグラフを見ると、合併した自治体ほど人口1人当たりが保有する延床面積が多く、その要因として合併前の自治体が所有していた施設を、合併後もそのまま保有し続けていることが推測されます。

※「東洋大学PPP研究センター紀要」より

■施設系統ごとの保有割合比較 単位：%

市名	学校教育	スポーツ	産業	子育て支援	行政
奥州市	30.3	9.0	8.9	3.5	6.9
佐野市	38.5	5.2	3.8	3.4	9.0
成田市	46.2	7.0	0.2	3.7	8.2

※各自治体が策定した公共施設などに係る整備計画より

栃木県佐野市と千葉県成田市は、人口1人当たりの延床面積が全国平均に近い合併自治体です。本市とそれぞれ保有する施設の系統別の割合を比較し、顕著な部分を表にまとめてみました。本市は学校教育系施設の占める割合が低く、スポーツや産業系施設の占める割合が高い状況です。このように比較してみると、本市は公共施設の総量が多く、人口規模や利用実態に応じたサービス提供の在り方を見直す必要性が課題として浮かび上がってきます。

施設系統ごとの比較

**公共施設は身近な存在**  
 学校や病院、体育館、市役所庁舎など、私たちの住むまちに当たり前のようにある公共施設。子どもたちが駆け回る大きな公園から観光名所の片隅にある小さなトイレまで、そのほとんどは市が所有し、管理しています。生まれたときから生活の身近にあるこれらの施設は、私たちの税金で建てられ、清掃や草刈り、修繕、建て替えも税金や施設の使用料で賄われています。

市内にある公共施設はおよそ760施設、2000棟。その3割が昭和40年代中期から50年代後期に建設されています。この時代の日本は、高度経済成長期後の安定成長期にあり、全国的な建設ラッシュの中、奥州市が誕生する前の5市町村も競うように公共施設を建設しました。昭和45年当時の5市町村の人口総数はおよそ12万6千人。昭和60年にはその人口がおよそ13万2千人にまで上昇した時代です(国勢調査より)。これらの公共施設がいま、一斉に建て替えや修繕を検討しなければ



■人口と総延床面積の比較

市名	人口	総延床面積	人口1人当たり延床面積
奥州市	121,427人	657,480 m <sup>2</sup>	5.36 m <sup>2</sup>
一関市	121,625人	670,220 m <sup>2</sup>	5.51 m <sup>2</sup>
盛岡市	294,072人	962,491 m <sup>2</sup>	3.27 m <sup>2</sup>

※各自治体が策定した公共施設などに係る整備計画より

■施設ごとの延床面積の比較 単位：m<sup>2</sup>

市名	集会施設	スポーツ施設	図書館	産業振興施設	学校施設
奥州市	51,730	60,278	5,143	59,629	202,535
一関市	77,158	62,069	13,233	45,440	261,660
盛岡市	63,035	33,414	5,632	10,732	414,836

※集会施設：地区センター、集会所など

※産業振興施設：観光施設・案内所・休憩所、商工業施設、農林生産施設、勤労者施設など

**県内他市との比較**  
 保有する公共施設(道路、上下水道などのインフラ資産を除く)の総延床面積について、本市と人口規模が近い一関市と、人口が2倍以上の盛岡市と比較してみました。

奥州市と一関市は、人口規模も保有する公共施設の総延床面積も類似しています。一方、人口規模が2倍以上の盛岡市は、人口1人当たりの延床面積が奥州市や一関市と比べて、県立のスポーツ施設を含めたとしても2市と比べ突出した面積ではありません。

岡市は、人口1人当たりの延床面積が奥州市や一関市と比べて少なく、また施設ごとで見ると、県立のスポーツ施設(延床面積3万1483 m<sup>2</sup>)や県立図書館(1万590 m<sup>2</sup>)を含めたとしても2市と比べ突出した面積ではありません。